

# パレスチナの手仕事の本



中東パレスチナの手仕事のお店

جامع مسقط  
架け者



## パレスチナとは？

エジプトの北、地中海の東に位置する。  
紛争のイメージを覆す  
鮮やかな手刺繍の文化が息づき、  
東西のエッセンスが混ざり合った  
美味しい食事でもてなされる場所。  
この地域に住む人達の人間的な包容力に、  
癒された旅人は数知れないとかー



仕事の合間のお茶は欠かせない  
定番のミントティー



市場はカラフルで様々な匂いが溢れている



アラブ諸国はこの色味を多用するので、国旗は覚えにくいかもしれない

# Aisha design / アイシャデザイン

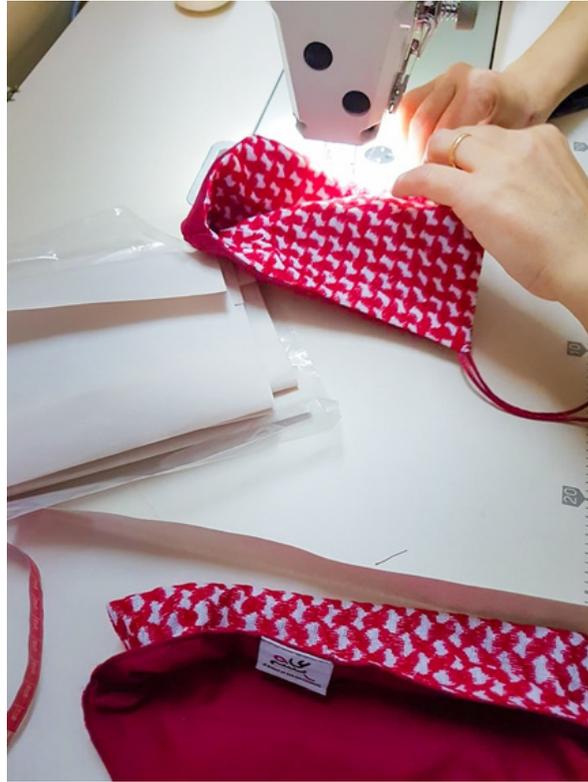


端切れを組み合わせデザインを創っていく

大黒柱で創業者のアイシャさんが切り盛りする  
ローカルブランド。

パレスチナの自然から着想を得たデザイン等を使い、  
自身もデザイナーの彼女が伝統×モダンな製品づくりに  
励んでいます。

アクセサリーブランドとして始まりましたが、地場織物  
を活用した布製品のラインナップも拡大中です。



一枚一枚、ミシンで縫製されていく

パレスチナで唯一残っている地元の「カフィーヤ工場（※）」から、色とりどりのスカーフを仕入れ、アイシャさんと従業員の女性たちが縫製。一枚の布から、箸袋だけでなくマスクやカバンが生み出され、世界各地に届けられます。

（※）カフィーヤとは、農作業、漁業の際に伝統的に着用されてきた日よけの布のこと。風呂敷やほっかむりに近い感覚。占領下という社会環境と安価な海外製の流入で産業が縮小した経緯があります。



## 地場産業×ゴミ問題の解決



地元の家具工場から出るごみを減らせないか。アイシャさんが女手ひとつで日々工場を回って材料を集め、シリア・パレスチナ地域伝統の織物「サーヤ」と合わせたシリーズです。

市場が分断されているパレスチナでは、アップサイクルは環境問題に加えて非常に意味のある事業です、とアイシャさんは言います。



出店中のアイシャさん

「移動の制限があるパレスチナでは、材料が手に入らなかったり、ビジネスが思うようにはいかないことも多々あります。

しかし、事業を続けるうちにアップサイクルへの理解も少しずつ広がっていますし、試行錯誤しながら、引き続き地元に貢献できるよう頑張りたいと思っています。

どんな地域にも遺産や文化があります。それは違うものではあっても、交わることで、お互いの姿を率直に知り合うことができるのではないかと思います。

そうした文化的なコミュニケーションを図っていきたいです。

確かにパレスチナについては色々な報道がありますが、それだけに目を留めずに、人としての姿や何を思っているのかを見て欲しいです」

# リダさん / Holy Land Handicraft Cooperative



作業場のご自宅で



刺繍ワッペンを作っているのはリダさんです。  
看護師から転向して、30年近く刺繍をし続けていま  
す。地元ベツレヘムで使われるキリスト教行事のため  
の衣装から、海外向けの雑貨まで請け負い、注文を取  
りまとめ、他の女性達に仕事を割り振り、  
地元を支えている方でもあります。



素敵なオフショット

「パレスチナ刺繍は伝統的な文化であり、若い人たちにももっと関心を持ってもらいたいと思っています。そのためには、安定的に働ける環境や設備を整えていきたいと思っています。

刺繍は私の大切な仕事。  
いつまでも続けていきたいと思っています」



古木になると樹齢何百年、何千年にもなる



オリーブの木はパレスチナにとって欠かすことのできない植物です。  
悠久の昔から、この地域の生活を支え、文化を生み出してきました。  
占領下で、引き抜かれるなど大きな危機に瀕しているオリーブ。  
農家さんが守った木を工房で加工しています。

# お箸作りの様子（1）



木材をカットし、機械と紙やすりで形を整えていきます。  
オリーブの木は削り過ぎると折れてしまうので、何度もやり方を調整しています。

## お箸作りの様子（2）



木材を同じくカットし、機械と手作業で削っていきます。  
長年オリーブ加工に携わっている方でも、お箸の形状は難しかったです。



工房で質問に答えるラーエドさん

「オリーブの木の加工は家業ではなく、自分で習いに行きました。  
もう34年になりますが、この仕事が好きです。  
ベツレヘムは90%の人が観光業に依存しているので、コロナ禍は私達にとって  
大変な出来事でした。しかし、助け合って何とか持ちこたえています。  
これからも日本の皆さんに製品を知ってもらい、  
手に取ってもらいたいですね」

スキの気持ちが、つくる未来。



パレスチナは、多くの方にとっては未知の場所だと思います。  
私にとっても訪れる前まではそうでした。

でも、知られていないというだけで、そこは単なる紛争地でも可哀そうでも  
怖い場所でもなくて、

どんな状況でも文化的に、日々を生きる人達があります。

そんな当たり前だけに見逃されがちなことを、  
手仕事を通して届けたいと思っています。

人同士、尊重し合えるように。



○商品一覧（お店で取り扱っていないものもあります）



○伝統文化と生産のストーリー



○パレスチナがもっと身近になるブログ

